

Q & A

Q 樹木診断はなぜするのか？

A 危険な樹木を見逃さず、適切な管理を行い安全・安心を確保するとともに、得られた情報から、適正な理に役立てて維持管理コストの縮減に寄与できます。

Q 樹木診断の適した時期は？

A 植物の葉が付いている時期（5月頃～11月頃）が望ましいです。ただし、落葉期でも実施可能です。

Q 樹木診断にかかる時間は？

A 樹木の樹齢・状態等により異なりますが、平均すると1本あたり10～20分程で、1日当たり30本が目安になります。（標準的な予備診断・初期診断の場合）

Q 樹木診断は誰が行うのか？

A 経験を有した樹木医（日本緑化センター認定）が診断します。

Q 樹木診断はどのくらいの頻度で行えばいいのか？

A 樹木の状態（診断結果）により異なります。樹木に大きな欠陥（腐朽や空洞、子実体（キノコ）の有無など）がある時は1～2年後に行います。樹木に欠陥などがなければ5～10年後に行います。一般的には5年に1回程度行うのが望ましいです。

Q 樹木診断はどのように活かしますか？

A 危険木を明らかにするのみにとどまらず、現状を分析することで樹木の管理方針や管理計画に役立てることが出来ます。

当社樹木診断・管理計画等の主な実績

実績 01 千里山団地建替基本計画業務
(平成18年(株)URサポート発注)約4,100本診断



実績02作業写真

実績 02 箕面公園危険木調査業務
(平成22年大阪府発注)約2,200本診断



実績04作業写真

実績 03 高槻市都市公園桜調査・管理計画策定業務
(平成24年高槻市発注)約700本診断

実績 04 主要地方道大阪中央環状線外街路樹台帳修正業務
(平成25年大阪府池田土木事務所発注)

実績 05 鳴子団地自然林管理計画策定業務
(平成26年UR部支社発注)約2,700本診断



実績05作業写真

実績 06 玉川の里桜調査・管理計画策定業務
(平成27年高槻市発注)約500本診断



実績06作業写真

実績 07 樹木健全度緊急調査業務
(平成26～27年吹田市発注)約20,000本診断

会社情報

環境設計株式会社

〒541-0056 大阪府中央区久太郎町1-4-2

TEL/FAX :06-6261-2144/06-6261-2146

HP :<http://www.kankyosekai.co.jp>

E-Mail :info@kankyosekai.co.jp

担当者 :井上 / 平川 (樹木医)

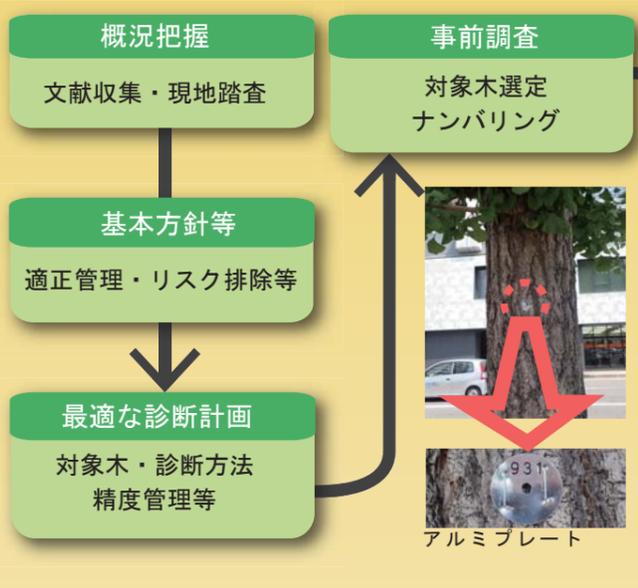


「樹木は危険を訴えています」

安全安心なまちづくりのための
危険な街路樹
公園樹木の
調べかた

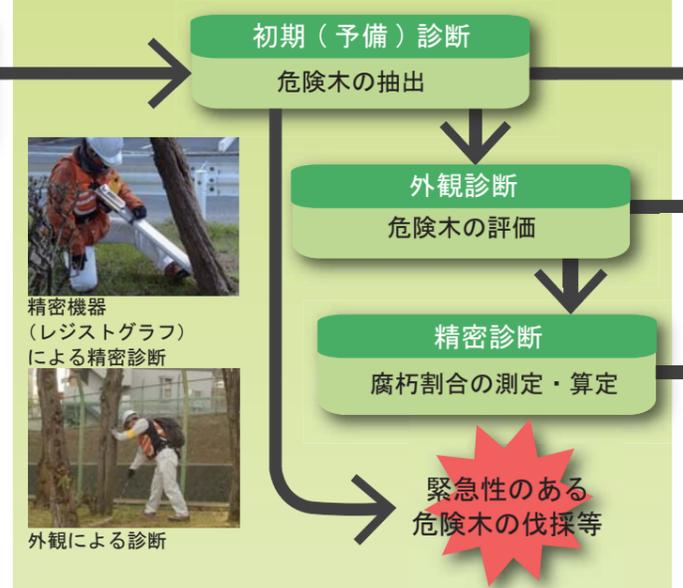
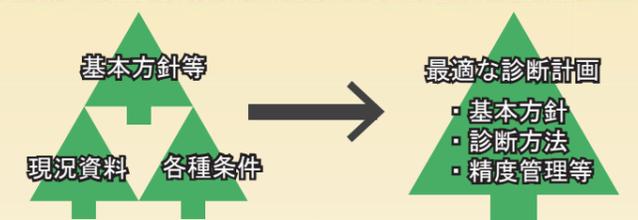
安心安全なまちづくりのための危険な街路樹・公園樹木の調べかた

調査の流れ



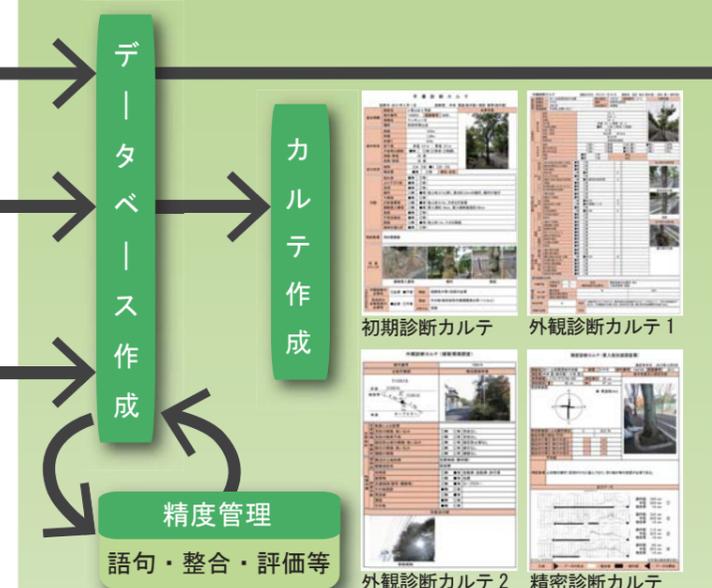
▲ 計画準備 (1～3 箇月)

- 基本方針等 (現況把握・維持管理・管理計画等)
 - 現況資料 (街路樹・公園樹木台帳、樹木位置図等)
 - 各種条件 (期間・緊急性・地域性・必要な情報等)
- ※診断方法は東京都方式、国総研方式、独自方式等様々存在します。



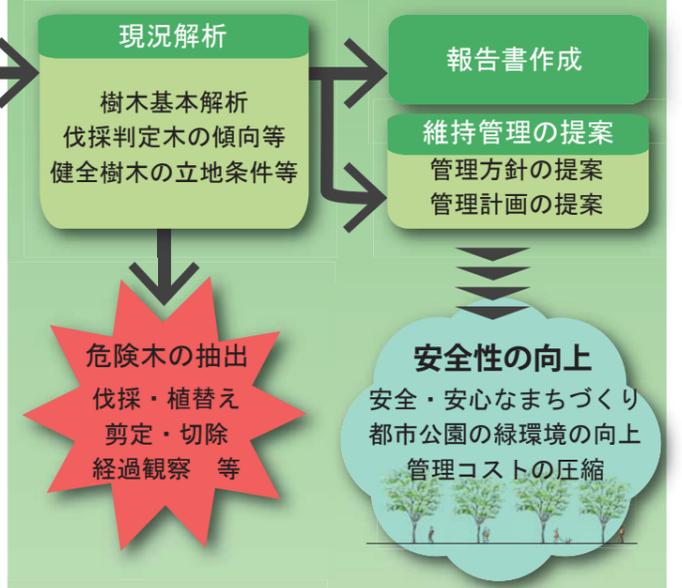
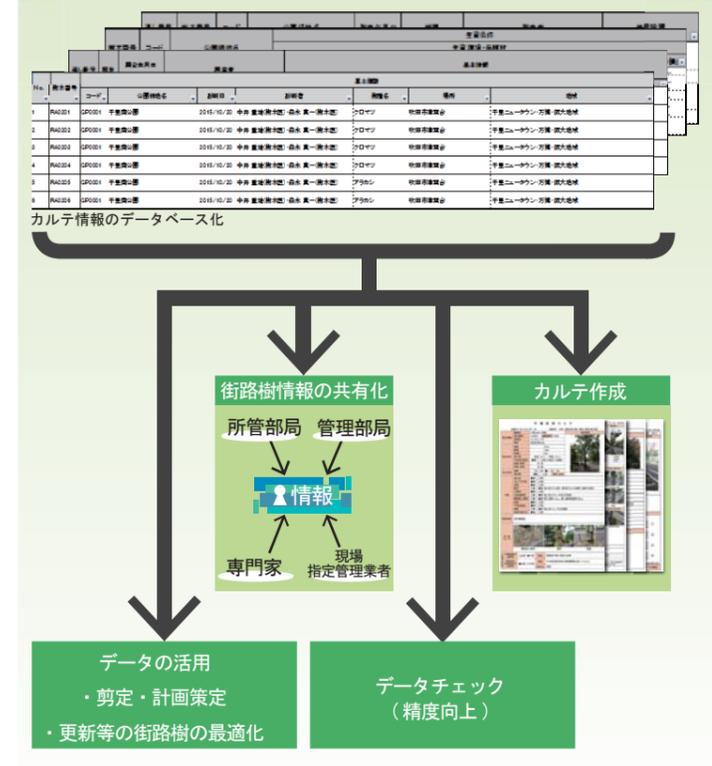
▲▲ 樹木診断 (1～8 箇月)

- 初期(予備)診断
 - 外観診断
 - 精密診断
- ・経験・知識等豊富な**樹木医**による適切かつ効率的な診断により、まちの緑の安全と安心を確保する。



▲▲▲ データベース カルテ作成 (1～3 箇月)

- 活用を念頭においたデータベースの構築
- カルテ作成のみだと、樹木診断の成果が得られた情報の**有効活用が困難である。**



▲▲▲ 報告書作成 (2～3 箇月) 維持管理の提案 (2～6 箇月)

- 現況解析
 - 評価
 - 最適な維持管理の提案
- データベースの活用により、危険木の抽出、改善措置の提示を行う。さらに、現況分析を行い事故リスクの抽出を行う。
- リスク、維持管理コスト、樹種特性、樹種基盤等から総合評価
- PDCA サイクルを利用した持続可能な維持管理計画等を提案



※ある都市のデータベースを基にした現況解析

街路樹木数	伐採判定
約 12,000 本	約 580 本 (約 5%)

(リスク評価) ※ある都市の街路樹木数・伐採判定樹木数

